

---

# マルゼン ブースターセット

## UH036Z-1型

---

### 取扱説明書



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。

誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。  
お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

**丸善工業株式会社**

## 安全操作のための注意事項

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や機械の破損事故をまねくおそれがあります。

### ——安全にご使用いただくために——



**警告**

#### 作業に適した服装と安全保護具の着用

1. 作業に適した服装をしてください。
2. 作業する時は必ず下記の安全保護具を着用してください。
  - ①ヘルメット・破砕物の飛散破片、障害物からの頭部の保護
  - ②防塵眼鏡・破砕物の飛散破片からの眼の保護
  - ③安全靴・・・落下物からの足の保護
  - ④手袋・・・高温部による火傷や打撲障害からの保護
  - ⑤耳栓耳覆い・騒音障害からの保護

#### 【守らないと】

思わぬ障害事故をまねく恐れがあります。



**警告**

#### こんな時は作業をしないでください

- ・過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時
- ・酒を飲んだ時
- ・手・足・腰等身体に痛みやケガのある時

#### 【守らないと】

重大な事故をまねくおそれがあります。



**警告**

#### 作業場周辺の注意

1. 作業する場所の周辺は破片が飛散しますので作業員以外の人を近づけないでください。
2. 周囲に飛散防止のつい立等を設置してください。

#### 【守らないと】

破砕物の破片で重大な障害をうける恐れがあります。



**警告**

#### ホース破裂に注意

1. ブースターセットと油圧ユニット間に接続する 3/8" 10m ホースは使用前に点検してください。
2. 超高压機器との接続に使用する超高压ホースも使用前に点検して下さい。

#### 【守らないと】

ホースの破裂による油の噴出で重大な事故を招くことがあります。



**注意**

#### 機械を他の人に貸す時は

- ・取扱い方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読み、理解してから使うように指導してください。

#### 【守らないと】

説明不足により重大な傷害や機械の破損をまねくおそれがあります。



## 注意

高温になるので直接さわらないで  
ください

- ・本機を使用していると油温が上昇して、機械が熱くなります。素手で触れたり、肌に接触させないでください。

【守らないと】

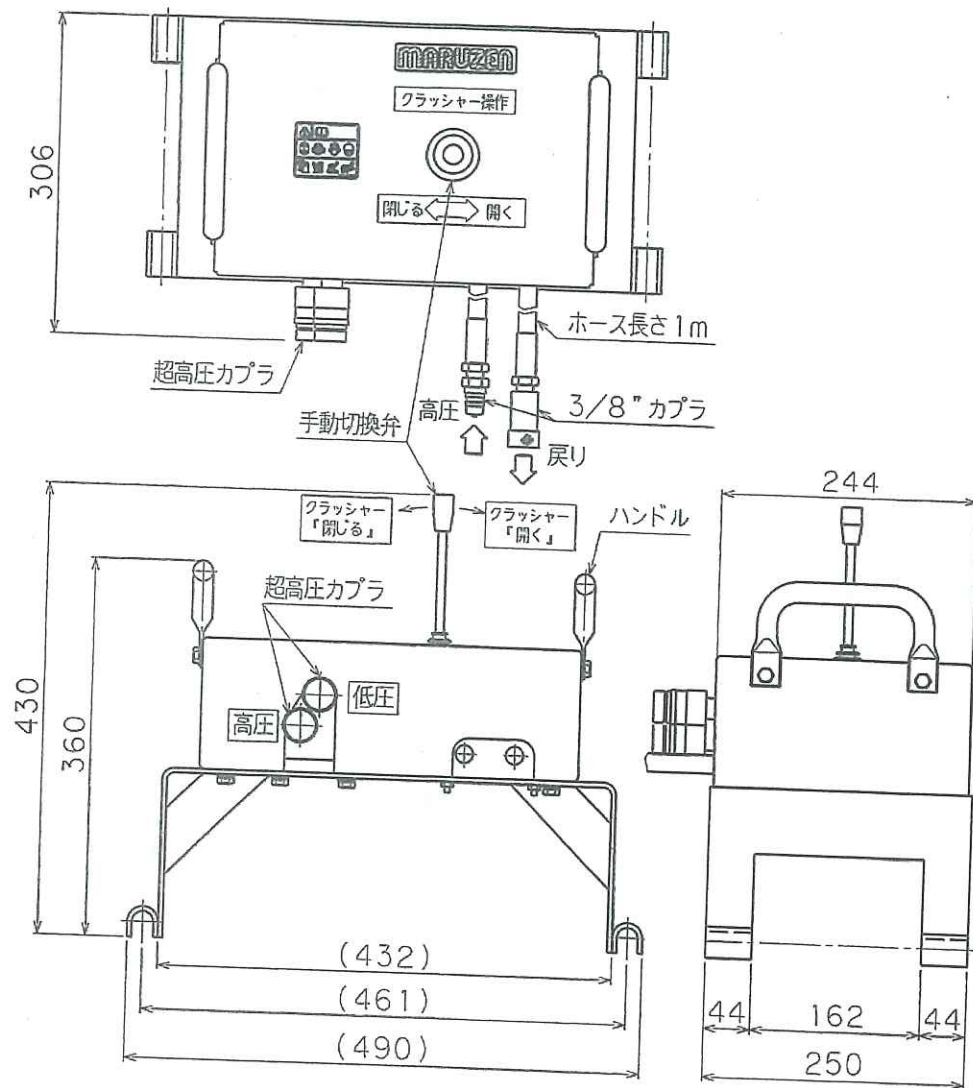
火傷をするおそれがあります。

## 本製品の使用目的

1. 本製品は本機と油圧ユニット U-070 とをホースで接続し、ハンドクラッシャー等の超高压油圧を使う時の油圧源として使用します。
2. 下記のような条件では使用しないでください。
  - (1) U-070 以外の油圧源との組み合わせによる使用
  - (2) 使用目的以外の作業での使用
  - (3) 油温 10℃以下または 90℃以上での使用

# 本製品の名称と仕様

## U-036Z-1 型 各部の名称



## UH036Z-1 型の仕様

外形寸法 : 490 mm × 306 mm × 430 mm

質量 : 35 kg

油圧源圧力 : 11.7 MPa

最高圧力 : 80.4 MPa

所要油量 : 20.5 L/min

推奨作動油 : ISO VG32 耐摩耗性作動油

接続金具

(油圧源側) : 3/8 インチカプラ

(ハンドクラッシャー側) : 3/8 インチ超高压カプラ

## 使用上・作業上の注意

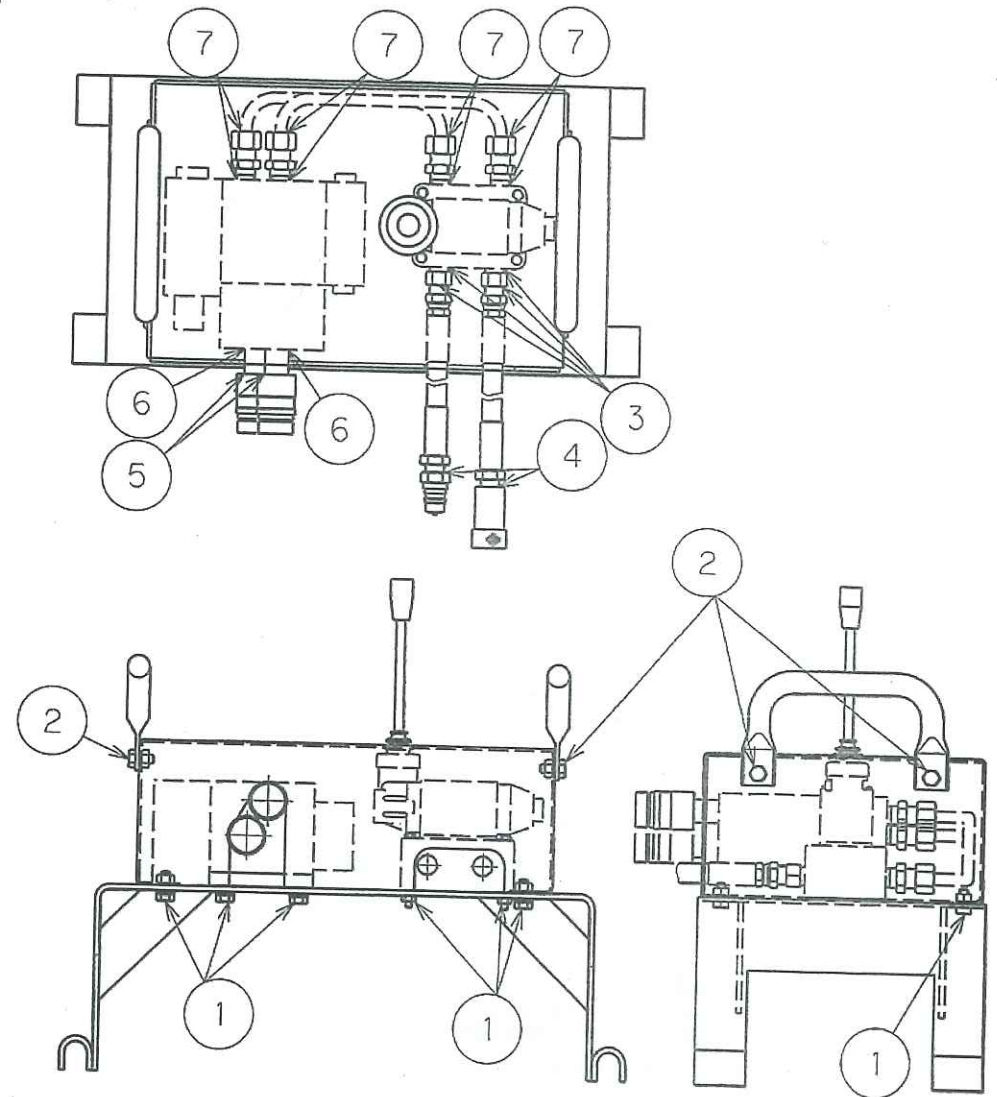
1. 油圧源は弊社油圧ユニット U-070 をご使用ください。
2. 本機を使用して作業する時は次のことに注意してください。
  - (1) 破砕物の破片の飛散による傷害。
  - (2) ホースにつまずいて転倒。
  - (3) 足場が悪く、つまずいて転倒。
  - (4) 破砕物が割れた時、はずしをくらって転倒。
  - (5) ハンドクラッシャーの重量で腰を傷める(取り扱いの姿勢に注意します)。
3. 油圧ユニットとブースターセット間の接続ホースは必ず 3/8 インチ 10mホースを使用してください。
4. 作業終了後はレバーを『開く』に倒して、圧抜き操作をして残圧をなくしてください。
5. 油圧源とブースターを切り離れた時は2本のホースのカプラを互いに接続してください。超高压ホースは外した後はカプラキャップをしてください。
6. 作業中にホースが破損し油が噴出した時は、速やかに U-070 の作動を停止してください。
7. カプラの接続や切り離しを行うと少量の作動油が漏れます。拭き取る等の処置をして油で周囲を汚さないように気をつけてください。また、始動時には作動油の量を点検し、不足している時は補充してください。
8. ホースを切り離する時は油圧源を停止してください。
9. 冬季など油温が低い時は+10℃になるまで U-070 の暖気運転を行ってください。
10. ブースターセットを油圧ユニットに載せて運搬する時はロープを掛ける等、転倒落下を防止する処置をしてください。

## 使用前の点検項目

本機をご使用になる前には必ず下表の項目を点検し、異常がある時には処置してください。

No.	点検項目	処置
①	ボルトのゆるみ	増し締め
②	ハンドル取付部のボルトのゆるみ	増し締め
③	ホース取付部のゆるみ	増し締め
④	カプラ取付部のゆるみ	増し締め
⑤	超高圧カプラ取付部のゆるみ	増し締め
⑥	アダプタのゆるみ	油漏れにつながるような傷や亀裂があるときは交換
⑦	各部の油のにじみ	サービスセンターで修理
⑧	接続ホースの傷、亀裂	油漏れにつながるような傷や亀裂があるときは交換

(※⑧は図示なし)



## 使用方法

### 1. 作業準備 (次ページの接続図も参照してください。)

- (1) ブースターセットとU-070を3/8" 10mホースで接続します。カプラにゴミや埃が付いていないことを確認します。
- (2) ブースターセットとハンドクラッシャーを3/8" 超高压ホースで接続します。カプラにゴミや埃が付いていないことを確認します。
- (3) U-070を始動し、ブースターセットに油が流れるようにします。

### 2. 実作業 (右図参照)

- (1) 破碎物にハンドクラッシャーを当て、手動切換弁のレバーを『閉じる』方向に倒すとハンドクラッシャーの爪が閉じます。
- (2) レバーを『開く』方向に倒すとクラッシャーの爪が開きます。

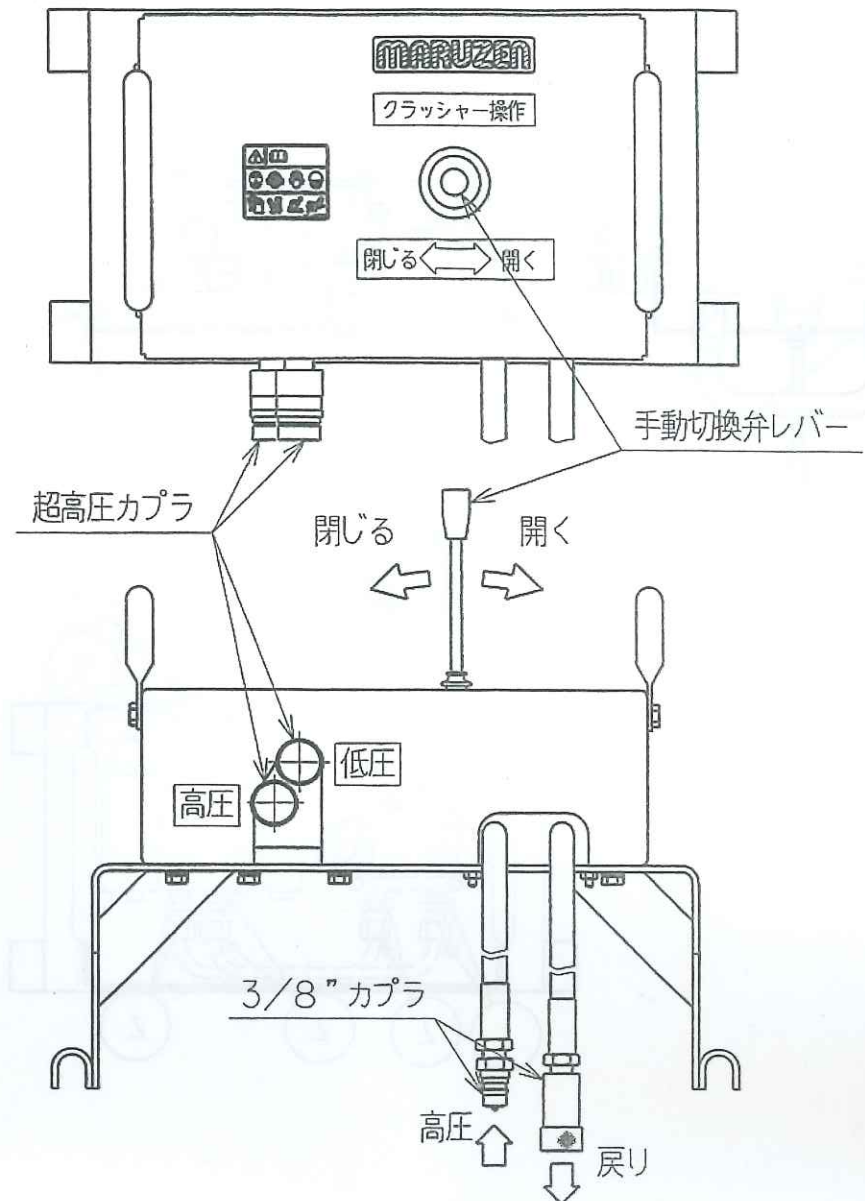
### 3. 作業終了

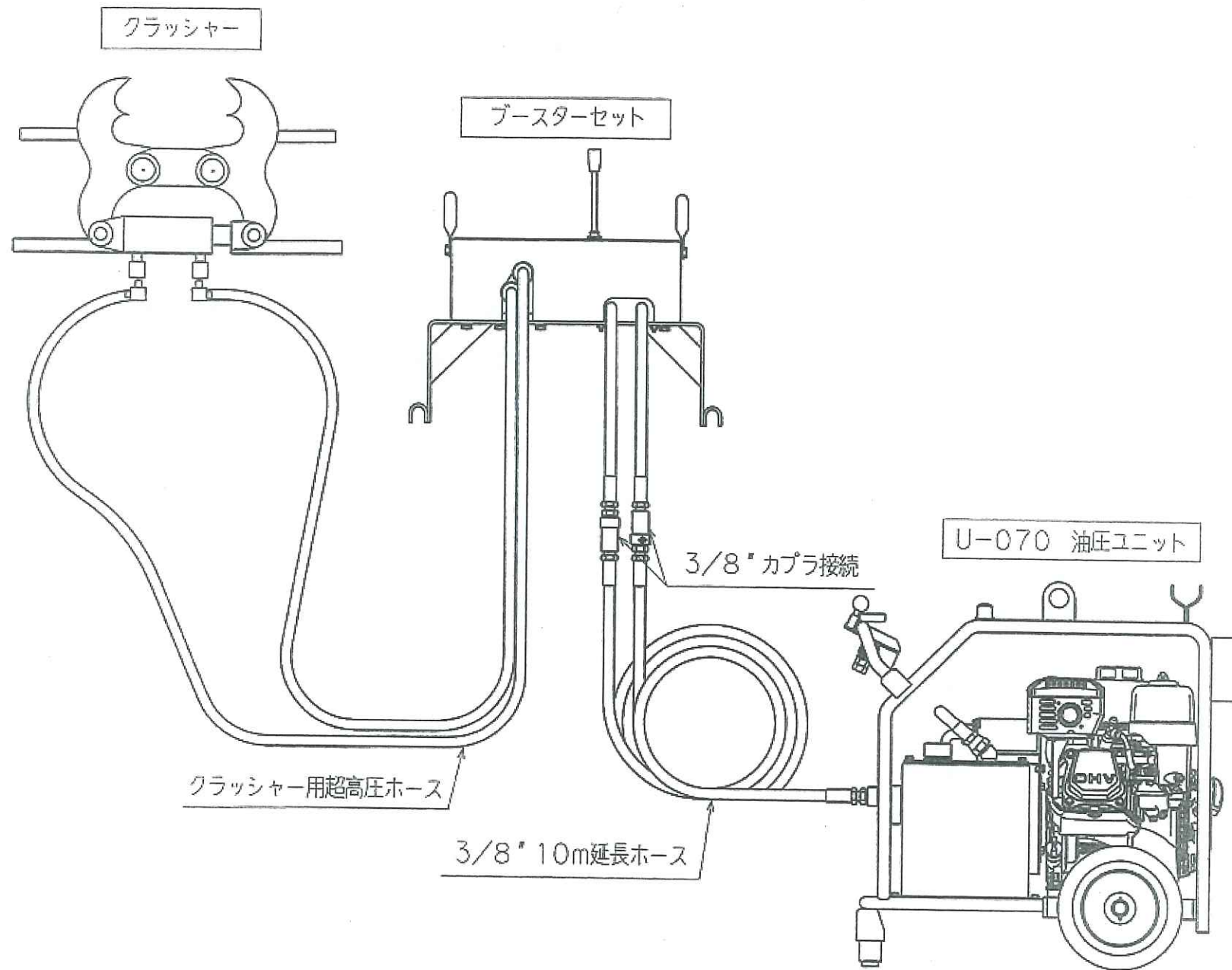
- (1) 作業終了後、手動切換弁のレバーを『開く』方向に倒して圧抜きをします。
- (2) U-070を停止します。
- (3) 3/8" 10mホースと超高压ホースを取り外します。ホースのカプラを互いに接続し、ゴミ埃の付着を防止します。

## 保守点検

ブレーカのホースや本体からの油漏れや油のにじみがないか点検してください。

p7の使用前の点検項目にある①～⑨の点検をしてください。







## 異常の原因と処置

★印については当社または当社サービスセンターへ依頼してください

異常現象	主な原因	処置
1. 手動切換弁のレバーを倒しても作動しない	1. 油圧源が停止している。	油圧源を起動する。
	2. 油圧源の切換弁が切換わっていない。	ブレーカ回路に作動油が流れるように切換える。
	3. ホースが接続されていない。	ホースを接続する。
	4. カプラの接続が不完全	各継手の接続状態をチェックする。
	5. 油圧源のリリーフ設定圧力が低い。	★適正圧力 11.7MPa に調整する。
	6. 内蔵ブースタの作動不良	★ブースタの点検、修理
2. クラッシャーの力が弱い	1. 油圧ユニットの作動油の不足	作動油を補充する。
	2. 油圧源のリリーフ設定圧力が低い。	★ 適正圧力 11.7MPa に調整する。
	3. 内蔵ブースタの故障	★ 点検修理。
3. 油漏れ	1. 内部配管の弛み	★ 点検修理する。
	2. ホース接続部の弛み	★ 点検修理する。
4. クラッシャーが反対に動く	1. 超高压ホースの接続が反対になっている。	接続をチェックする。